

本格的な雨の季節

身を守る備えはできていますか。

本格的に雨の多いシーズンに突入しました。

熊本地震の傷がまだ癒えない本町ですが、自然は容赦なく猛威を振るってきます。昨年、発災から2か月を過ぎた6月20日には、10時以降の2時間に124ミリの豪雨が降り、河川堤防の越流や決壊などで家屋や農地などに大きな被害が出ています。

その後、1年が経過しましたが、広域にわたる地盤沈下などへの抜本的な対策がとれるような状況には至っていません。

そのような中、激しい雨が長く降り続けると、家屋の浸水や土砂災害など私たちの生命や財産を脅かすような事態になりかねず、これまで以上の警戒が必要となってきます。

「自らの身の安全は自らが守る」。これが防災の基本です。もしもの災害から身を守る備えはできていますか。

